

宮満天府宰太



全国に一万二千社ほどある道真公を祀る神社の中でも、太宰府天満宮は天神信仰の聖地とされています。それは、ここが道真公の墓所だからです。弟子たちが亡骸を運ぶ途中、棺を引いていた牛がこの地で止まったため、ここに亡骸を葬り、廟を建てたことが由来とされています。

菅原道真公の生涯

菅原道真公は幼いときより学問の才能を發揮され、わずか五歳で和歌を詠まれるなど神童と称されていました。

その後、壮年期より朝廷に仕えると宇多天皇の信頼を経てますます活躍されました。

しかし身に覚えのない罪を着せられ太宰府へ左遷されました。死後、悪実が証明され人々から神様として崇められるようになりました。

太宰府には三つの橋があり過去、現在、未来を表しています。それぞれの橋に渡り方があり渡り終えると現在未来にいいことがあると言われています。

過去の橋

振り向かない

現在の橋

立ち止まらない

未来の橋

つまずかない

梅ヶ枝餅

香ばしい香りと優しい味わいで古くから愛される太宰府の名物です。

